



平成 25 年 9 月期 第 1 四半期決算短信（連結）

平成 25 年 1 月 31 日

会 社 名 太陽毛絲紡績 株式会社 グリーンシート銘柄 オーディナリー
 コード番号 3 2 1 1 本社所在都道府県 埼玉県
 本社所在地 埼玉県川口市上青木 5-5-9
 代表者 代表取締役社長 内 山 正 治
 問合せ先責任者 取締役管理本部長 山 中 庸 TEL (048) 265-2414

1. 平成 25 年 9 月期第 1 四半期の業績（平成 24 年 10 月 1 日～平成 24 年 12 月 31 日）

- （注） 1. 本四半期決算短信の数値は、未監査であります。
 2. 本四半期決算短信の数値は、税効果会計の適用等、所要の会計上の修正を行っておりません。
 3. 記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

(1) 連結経営成績

	売 上 高		営 業 利 益		経 常 利 益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25 年第 1 四半期	173	(△4.3)	△1	(—)	△7	(—)
24 年第 1 四半期	180	(4.9)	△4	(—)	△10	(—)

	当 期 純 利 益		1 株 当 た り 当 期 純 利 益	潜在株式調整後 1 株 当 た り 純 利 益	自 己 資 本 当 期 純 利 益 率	総 資 産 経 常 利 益 率	売 上 高 経 常 利 益 率
	百万円	%	円 銭	円 銭	%	%	%
25 年第 1 四半期	△7	(—)	△2.20	—・—	△0.6	△0.2	△4.4
24 年第 1 四半期	△10	(—)	△2.98	—・—	△0.9	△0.3	△5.6

- （注） 1. 有価証券の評価益 100 百万円 デリバティブ取引の評価損益 ー百万円
 2. 期中平均株式数 25 年第 1 四半期 3,569,737 株 24 年第 1 四半期 3,570,427 株
 3. 会計処理の方法の変更 無
 4. 売上高、営業利益、経常利益、当期純利益におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率
 5. 潜在株式の存在 無

(2) 連結財政状態

	総 資 産	純 資 産	自 己 資 本 比 率	1 株 当 た り 純 資 産
	百万円	百万円	%	円 銭
25 年第 1 四半期	3,596	1,341	37.3	375.78
24 年第 1 四半期	3,612	1,209	33.5	338.80

（注） 期末発行済株式数

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 25 年第 1 四半期 3,589,000 株 24 年第 1 四半期 3,589,000 株
 ② 期末自己株式数 25 年第 1 四半期 19,263 株 24 年第 1 四半期 18,623 株

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期 末 残 高
	百万円	百万円	百万円	百万円
25年第1四半期	△8	△ 11	69	144
24年第1四半期	1	△ 2	60	211

2. 平成25年9月期の業績予想（平成24年10月1日～平成25年9月30日）

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり年間配当金		
				中 間	期 末	
	百万円	百万円	百万円	円 銭	円 銭	円 銭
中 間 期	370	△13	△14	—	—	—
通 期	950	35	30	—	—	—

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正 無

(参考) 1株当たり予想当期純利益（通期）8円40銭

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他の特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

※ 反社会的勢力との関係排除への取組みとその運用状況

(1) 反社会的勢力排除に向けた基本的な考え方

当社グループは、反社会的勢力との関係につきましては、取引関係を含め一切遮断することを基本方針としております。

(2) 反社会的勢力排除に向けた整備状況

当社グループは、反社会的勢力の経営活動への関与や当該勢力による被害を防止する観点から、管理本部を対応部署とし、必要に応じて、警察、顧問弁護士などの外部専門機関と連携し、反社会的勢力の排除に向けて取り組んでおります。

第89期 第1四半期報告書

(平成24年10月1日から平成24年12月31日)

会社名（定款上の商号） 太陽毛絲紡績株式会社
 英 文 名 TAIYO WOOLEN SPINNING CO.,Ltd
 コ ー ド 番 号 3211
 代 表 者 の 役 職 氏 名 代表取締役社長 内山 正治
 本 店 の 所 在 地 の 場 所 埼玉県川口市上青木5-5-9
 電 話 番 号 048-265-2414
 連 絡 者 取締役管理本部長 山中 庸

I 四半期の業績

(1) 連結損益計算書

(単位：千円)

科 目	期 別	第89期	当期累計	前年同期累計
		第1四半期 自平成24年10月1日 至平成24年12月31日	自平成24年10月1日 至平成24年12月31日	自平成23年10月1日 至平成23年12月31日
I 売上高		173,119	173,119	180,932
II 売上原価		123,726	123,726	132,313
III 売上総利益		49,393	49,393	48,618
IV 販売費及び一般管理費		51,099	51,099	52,658
V 営業損		1,706	1,706	4,039
VI 営業外収益		2,857	2,857	2,726
VII 営業外費用		8,831	8,831	8,760
VIII 経常損		7,679	7,679	10,073
IX 特別利益		-	-	908
X 特別損		-	-	1,298
税金等調整前四半期(当期)純損失		7,679	7,679	10,463
法人税、住民税及び事業税		163	163	167
少数株主損益調整前四半期(当期)純損失		7,843	7,843	10,631
四半期(当期)純損失		7,843	7,843	10,631

(注) 記載金額は千円未満を切捨てて表示しております。

(連結包括利益計算書)

科 目	第89期	当期累計	前年同期累計
	第1四半期 自平成24年10月1日 至平成24年12月31日	自平成24年10月1日 至平成24年12月31日	自平成23年10月1日 至平成23年12月31日
少数株主損益調整前四半期(当期)利益	△ 7,843	△ 7,843	△ 10,631
その他の包括利益			
その他有価証券評価差額金	21,469	21,469	2,100
土地再評価差額金	-	-	-
持分法適用会社に対する持分相当額	-	-	-
その他の包括利益合計	21,469	21,469	2,100
包 括 利 益			
(内訳)			
親会社株主に係る包括利益	13,626	13,626	△ 8,530
少数株主に係る包括利益	-	-	-

(注)

期 別 科 目	第89期 第1四半期	当期累計	前年同期累計
	自平成24年10月1日 至平成24年12月31日	自平成24年10月1日 至平成24年12月31日	自平成23年10月1日 至平成23年12月31日
期 中 平 均 株 式 数	3,569,737	3,569,737	3,570,427株
1株当たり四半期(当期)純利益	△2円20銭	△2円20銭	△2円98銭
潜 在 株 式 調 整 後 1株当たり四半期(当期)純利益	—	—	—

※ 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 事業部門別売上高

(単位：千円)

期 別 科 目	第89期 第1四半期	当期累計	前年同期累計
	自平成24年10月1日 至平成24年12月31日	自平成24年10月1日 至平成24年12月31日	自平成23年10月1日 至平成23年12月31日
織 維 事 業	115,938	115,938	124,654
貸 貸 事 業	41,826	41,826	41,451
物 流 事 業	15,354	15,354	14,826

(3) 連結貸借対照表

(単位：千円)

期 別 科 目	第88期	第89期
	(平成24年9月30日)	第1四半期 (平成24年12月31日)
(資 産 の 部)		
I 流動資産		
1 現金及び預金	95,949	144,478
2 受取手形及び売掛金	213,132	168,512
3 商品及び製品	165,054	158,000
4 仕掛品	1,707	9,026
5 原材料及び貯蔵品	87,659	110,770
6 その他の金	13,438	11,033
貸倒引当金	△122	△122
流動資産合計	576,820	601,700
II 固定資産		
(1) 有形固定資産		
1 建物及び構築物	387,906	389,213
2 機械装置及び運搬具	8,859	9,762
3 土地	2,293,314	2,293,314
4 その他の	4,395	4,261
有形固定資産合計	2,694,476	2,696,552
(2) 無形固定資産		
1 ソフトウェア	159	147
2 電話加入権	1,124	1,124
無形固定資産合計	1,283	1,271
(3) 投資その他の資産		
1 投資有価証券	147,941	181,811
2 保険積立金	92,343	93,883
3 その他の	22,223	21,321
貸倒引当金	△110	△110
投資その他の資産合計	262,397	296,905
固定資産合計	2,958,157	2,994,728
資産合計	3,534,978	3,596,429

(単位：千円)

科 目	期 別	第88期	第89期
		(平成24年9月30日)	第1四半期 (平成24年12月31日)
(負債の部)			
I 流動負債			
1 支払手形及び買掛金		39,804	8,920
2 短期借入金		69,000	94,000
1年以内に返済予定の長期借入金		354,632	370,342
3 未払金		22,021	26,599
4 未払費用		139	149
5 未払法人税等		655	163
6 未払消費税等		6,158	2,588
7 その他		21,405	19,097
流動負債合計		513,816	521,862
II 固定負債			
1 長期借入金		881,707	910,765
2 繰延税金負債		24,395	36,795
3 再評価に係る繰延税金負債		586,696	586,696
4 退職給付引当金		12,657	13,931
5 長期預り敷金保証金		187,901	184,949
固定負債合計		1,693,357	1,733,137
負債合計		2,207,174	2,254,999
(純資産の部)			
I 株主資本			
1 資本金		100,000	100,000
2 資本剰余金		322,741	322,741
3 利益剰余金		△ 152,762	△ 160,605
4 自己株式		△ 977	△ 977
株主資本合計		269,001	261,158
II その他の包括利益累計額			
1 その他の有価証券評価差額金		42,241	63,711
2 土地再評価差額金		1,015,860	1,015,860
3 為替換算調整勘定		699	699
その他の包括利益累計額合計		1,058,801	1,080,271
純資産合計		1,327,803	1,341,429
負債純資産合計		3,534,978	3,596,429

※ 記載金額は千円未満を切捨てて表示しております。

(注)

科 目	期 別	第88期	第89期
		(平成24年9月30日)	第1四半期 (平成24年12月31日)
発行済株式総数		3,589,000株	3,589,000
1株当たり純資産額		371円96銭	375円78銭

※ 発行済株式総数には自己株式数が含まれております。(平成24年9月30日19,263株、平成24年12月31日19,263株)

(4) 連結株主資本等変動計算書

(単位：千円)

項 目	株主資本					その他の包括利益 累計額合計	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計		
平成24年9月30日残高	100,000	322,741	△ 152,762	△ 977	269,001	1,058,801	1,327,803
第1四半期中の変動額							
四半期純損失(△)	—	—	△ 7,843	—	△ 7,843	—	△ 7,843
自己株式の取得	—	—	—	—	—	—	—
株主資本以外の項目の第1四半期中の変動額(純額)	—	—	—	—	—	21,469	21,469
第1四半期中の変動額合計	—	—	△ 7,843	—	△ 7,843	21,469	21,469
平成24年12月31日残高	100,000	322,741	△ 160,605	△ 977	261,158	1,080,271	1,341,429

(5) 貸借対照表及び損益計算書の作成の基本となる事項

四半期の貸借対照表及び損益計算書の作成の基礎としている会計処理の原則及び手続は、下記事項を除き正規の決算において採用している基準と同一のものを適用しております。正規の決算において採用している会計方針は「有価証券報告書 第5経理の状況1【連結財務諸表等】(1)【連結財務諸表】連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項、注記事項」をご参照下さい。

事業年度の貸借対照表及び損益計算書の作成のために採用している会計処理の原則及び手続と異なる会計処理の基準は次のとおりであります。

1. 固定資産の減価償却の方法 各四半期の減価償却費は年間発生見積額の4分の1に該当する金額を計上しております。
2. 法人税、住民税及び事業税の計上基準 各四半期においては、法定実効税率をベースとした年間予測税率により計算しております。
3. 経過勘定項目 未収収益、未払費用等の経過勘定項目の内、重要性の低い項目は、四半期決算書上資産及び負債への計上を省略しております。

なお、当該四半期の貸借対照表、損益計算書及び株主資本変動計算書については、公認会計士の監査を受けておりません。

(6) 会計方針の変更

該当事項はありません。

II 第89期 第1四半期(平成24年10月1日から平成24年12月31日)の業績の概況

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、震災後の復興需要など背景に一部緩やかな回復傾向が見られました。一方で、世界経済は、欧州債務危機問題、米国の景気低迷の長期化、新興国の経済成長鈍化などを受けて景気減速の様相が続きました。この様な影響を受けて、国内経済におきましては一部で円高・株安傾向に是正が見られたものの、需給ギャップ、デフレの長期化などが相俟って、企業の設備投資は弱含みとなるとともに、雇用・所得環境にも改善が見られず個人消費の回復がないまま、景気低迷からの脱却ができない状況で推移いたしました。

繊維業界におきましては、震災後の消費マインドの低下からの持ち直し傾向はあるものの、回復には程遠い状況となりました。

このような経営環境のなか、当社グループは収益体質の改善、財務体質の強化、新規商品の開発と市場開拓、さらには新しい組織形態の構築を目指し、業務の効率化による経費の削減と製造コストの低減に努めるとともに事業資源の効率的な運用を計ってまいりました。その結果、売上高は173,119千円(前年同180,932千円)と4.3%の減収となりました。収益面においては、営業損失1,706千円(前年同期4,039千円の損失)、経常損失7,679千円(前年同期10,073千円の損失)、四半期純損失7,843千円(前年同期10,631千円の損失)と収益改善を図ることが出来ました。

III 第89期通期の売上高及び利益の予測について

第89期通期の売上高及び利益の予想につきましては、当初予想に変更ありません。

(単位：千円)

科 目	期 別	第88期 (実績)	第89期 (予測)
		自 平成23年10月1日 至 平成24年9月30日	自 平成24年10月1日 至 平成25年9月30日
売 上 高		928,678	950,000
経 常 利 益		30,679	35,000
当 期 純 利 益		22,886	30,000

IV 資金及び借入金の状況

(1) 現金及び預金の増減

(連結キャッシュフロー計算書)

(単位：千円)

科 目	期 別	
	前年同期	第89期 第1四半期
	自 平成23年10月1日 至 平成23年12月31日	自 平成24年10月1日 至 平成24年12月31日
I 営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純損失	△ 10,463	△ 7,679
減価償却費	9,572	8,306
受取利息及び受取配当金	△ 2,300	△ 2,756
支払利息	8,378	7,819
為替差損益(△は益)	114	791
売上債権の増減額(△は増加)	33,910	44,620
たな卸資産の増減額(△は増加)	△ 23,265	△ 23,375
仕入債務の増減額(△は減少)	△ 4,018	△ 30,883
長期預り敷金保証金の増減額(△は減少)	△ 1,858	△ 2,951
未払消費税等の増減額(△は減少)	△ 1,261	△ 3,570
その他	△ 938	6,214
小計	7,867	△ 3,463
利息及び配当金の受取額	2,300	2,756
利息の支払額	△ 7,868	△ 7,174
法人税等の支払額	△ 655	△ 655
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,645	△ 8,536
II 投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△ 1,427	△ 10,369
保険積立金の積立による支出	△ 770	△ 1,540
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,197	△ 11,910
III 財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額(△は減少)	28,000	25,000
長期借入金の借入による収入	127,000	142,000
長期借入金の返済による支出	△ 94,201	△ 97,232
自己株式の取得による支出	△ 12	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	60,787	69,768
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 114	△ 791
V 現金及び現金同等物の増加額	60,119	48,529
VI 現金及び現金同等物の期首残高	151,686	95,949
VII 現金及び現金同等物の期末残高	211,806	144,478

(注) 記載金額は千円未満を切捨てて表示しております。

(主な増減理由)

主な増減は以下のとおりであります。

(連結キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期における現金及び現金同等物は、財務活動によって生じた資金を営業活動および投資活動で一部を使用しました結果、144,478千円(前年同期211,806千円)となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は、8,536千円(前年同期1,645千円の収入)となりました。これは主に仕入債務の減少によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、11,910千円(前年同期2,197千円の支出)となりました。これは有形固定資産の取得による支出などでありあります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、69,768千円(前年同期60,787千円の収入)となりました。これは短期借入金および長期借入金の借入による収入によるものであります。

(2) 短期借入金の増減

(単位：千円)

期 別	第89期 第1四半期 自平成24年10月1日 至平成24年12月31日
科 目	
短期借入金の増減額(△は減少)	25,000
短期借入金の四半期首残高	69,000
短期借入金の四半期末残高	94,000

(主な増減理由)

短期運転資金借入金の借入によるものであります。

(3) 長期借入金 of 増減

(単位：千円)

期 別	第89期 第1四半期 自平成24年10月1日 至平成24年12月31日
科 目	
長期借入金の増減額(△は減少)	44,768
長期借入金の四半期首残高	1,236,339
長期借入金の四半期末残高	1,281,107

(注) 長期借入金は1年以内に返済予定の長期借入金を含んでおります。

(主な増減理由)

長期設備および長期運転資金の借入によるものであります。

V その他

期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。